

ねこはねこだもの



正道かほる
加藤麻休子・絵

ねこがいました。げんきな女の子のねこでした。

ねこは山の中にいました。いつきたのかも、どうやってきたのかもわかりません。

おなかの下ではみどりの草がツンツンしています。あたまの上では木の葉がさわさわゆれてます。その上にはきもちのいい、まっ青な夏の空。

ねこは、うーんとのびをしました。

「なんだか……、おなかがすいたな」

おかあちゃんのおっぱいをのんだのは、ずっとまえの気がします。

「でもわたし、もう赤ちゃんじゃないんだもん。さかながたべたいな」

ねこは、はなをふんふんいわせて、あちこちあるいてみました。でも、さかなはありません。

からすが木の上から見てわらいました。

「あほー、あほー。さかなが林にいるわけないよ」